

【維持系】特定構造物改築事業・河川施設修繕事業

事業の目的: 集中豪雨等による浸水被害から住民の生命や財産を守るため、老朽化が著しい水門やポンプ設備等の大規模な構造物の整備・更新を行い、その機能を回復し浸水被害の軽減を図る。

整備前

ポンプインペラ



整備後



【維持系】ダム施設整備交付金事業(防災・安全社会整備交付金)【堰堤改良】

事業の目的: 老朽化したダムの施設更新を実施することにより、各設備で発生している機器異常や故障を解消し適正な洪水調節や水の安定供給を図る。

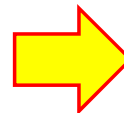
整備前



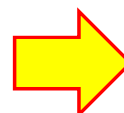
整備後



テレメータ警報
装置更新・増設
(新基準仕様へ更新)



ゲート
巻き上げ機更新
(新基準仕様へ更新)



公共事業新規評価調書 (維持系)

本部・部名	県土整備部	課名	河川砂防課	事業名	特定構造物改築事業
種別	河川	事業区分	維持管理		

事業目的	一級河川の指定区間または二級河川において、既設河川管理施設のうち水門や樋門、樋管、排水機場及びこれに類する施設（機械施設を含む）の老朽化や亀裂、破損などにより本来の機能を有していない施設や、そのまま放置すると老朽化が進み機能が低下する施設を更新または修繕する工事を行い、治水機能の保持を図ることを目的とする。
------	--

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選択する。
	生活環境対策	排ガス対策型機械の使用、建設副産物の適正処理、再生材の使用等を行う。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。現場発生材の有効活用、再生材の使用等、より安価な材料を使用する。
	その他	

注) () 内の数字は満点

事務所名	箇所番号	水系名	路河川名及び地区・箇所名	所在地		事業費 (百万円)	事業概要		完成 予定 年度	評価視点：位置付け										評価視点：必要性・効果						評価視点：実施環境										判断										
				市町名	大字等		工法	延長、 数量等		評価指標：点検診断結果による判定 (専門業者による診断点検報告)					評価指標：点検診断結果による判定 (対象機器、施設の重要度)					評価指標：構造上の課題					評価指標：前回改修からの経年			評価指標：破損・錆の目視判断				評価指標：想定被災区域の状況					評価指標：操作性による判定									
										緊急を要する	修繕が望ましい	最低でも機能は可	機能は十分発揮できる	小計	主要機器である	主要機器に影響を与える付属施設である	主要機器に影響のない付属施設である	小計	計	10年以上	5～10年	1～5年	1年未満	小計	5年以上	5年未満	小計	破損箇所が多く、錆が著しい	破損箇所が見受けられ、錆も発生している	異常なし	小計	計	背後地に集落等がある	背後地に人家等が点在している	ほとんど農地である		山付である	小計	悪い	普通	良い	小計	計	評価		
東部	1	筑後川	下野排水機場	鳥栖市		439.0	ポンプ設備更新	一式	68	(60点)	(40点)	(30点)	(0点)	(60点)	(40点)	(30点)	(0点)	(40点)	(100点)	(60点)	(50点)	(40点)	(0点)	(60点)	(20点)	(10点)	(20点)	(20点)	(10点)	(0点)	(20点)	(100点)	(60点)	(50点)	(40点)	(0点)	(60点)	(40点)	(20点)	(0点)	(40点)	(100点)	A	A	A	I
東部	2	筑後川	通瀬川排水機場	鳥栖市		1769.0	ポンプ設備更新	一式	68		40			40	40			40	80	60					20			10		10	90	60					40	100	A	A	A	I				
佐賀	3	筑後川	新川排水機場	佐賀市		1955.0	ポンプ設備更新	一式	68		40			40	40			40	80	60					20			20		20	100	60					40	100	A	A	A	I				

公共事業新規評価調書 (維持系)

本部・部名	県土整備部	課名	河川砂防課	事業名	河川保全事業 (河川管理施設修繕系)
種別	河川	事業区分	維持管理		

事業目的	一級河川の指定区間または二級河川において、既設河川管理施設のうち水門や樋門、樋管、排水機場及びこれに類する施設（機械施設を含む）の老朽化や亀裂、破損などにより本来の機能を有していない施設や、そのまま放置すると老朽化が進み機能が低下する施設を更新または修繕する工事を行い、治水機能の保持を図ることを目的とする。
------	--

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選択する。
	生活環境対策	排ガス対策型機械の使用、建設副産物の適正処理、再生材の使用等を行う。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。現場発生材の有効活用、再生材の使用等、より安価な材料を使用する。
	その他	

注) () 内の数字は満点

事務所名	箇所番号	水系名	路河川名及び地区・箇所名	所在地		事業費 (百万円)	事業概要		完成 予定 年度	評価視点：位置付け											評価視点：必要性・効果											評価視点：実施環境											判断		
				市町名	大字等		工法	延長、 数量等		評価指標：点検診断結果による判定 (専門業者による診断点検報告)					評価指標：点検診断結果による判定 (対象機器、施設の重要度)					評価指標：構造上の課題				評価指標： 前回改修からの経年			評価指標： 破損・錆の目視判断				評価指標：想定被災区域の状況				評価指標：操作性による判定										
										緊急を要する	修繕が望ましい	最低でも機能保持は可能	機能は十分発揮できる	小計	主要機器である	主要機器に影響を与える付属施設である	主要機器に影響のない付属施設である	小計	計	10年以上	5～10年	1～5年	1年未満	小計	5年以上	5年未満	小計	破損箇所が多く、錆が著しい	破損箇所が見受けられ、錆も発生している	異常なし	小計	計	背後地に集落等がある	背後地に人家等が点在している	ほとんど農地である	山付である	小計	悪い	普通	良い	小計	計			
				(60点)	(40点)		(30点)	(0点)		(60点)	(40点)	(30点)	(0点)	(40点)	(100点)	(60点)	(50点)	(40点)	(0点)	(60点)	(20点)	(10点)	(20点)	(20点)	(10点)	(0点)	(20点)	(100点)	(60点)	(50点)	(40点)	(0点)	(60点)	(40点)	(20点)	(0点)	(40点)	(100点)							
杵藤	1	塩田川	浦田川救急内ポンプ	嬉野市	馬場下	94.0	ポンプ修繕	羽根モーター更新2基他	32		40			40				40	80	60				60	20		20		10		10	90	60				60	20		20	80	A	A	A	I
杵藤	2	塩田川	入江川救急内ポンプ	嬉野市	久間	158.0	ポンプ修繕	操作盤更新4基他	34		40			40				40	80	60				60	20		20		10		10	90	60				60	20		20	80	A	A	A	I
杵藤	3	只江川	只江川可搬式ポンプ	白石町	新明	15.0	ポンプOH	一式	29	60				60				40	100	60				60	20		20			20	100	60			20		20	80	A	A	A	I			
杵藤	4	六角川	境川可搬式ポンプ	大町町	福母	23.0	ポンプOH	一式	29	60				60				40	100	60				60	20		20			20	100	60	40			40	100	A	A	A	I				
伊万里	5	有田川	新田川排水機場	伊万里市		1615.0	ポンプ設備更新	一式	68		40			40				40	80	60				60	20		20		10		10	90	60			20		20	80	A	A	A	I		

公共事業新規評価調書（維持系）

本部・部名	県土づくり本部	課名	河川砂防課	事業名	ダム施設整備交付金
種別	ダム	事業区分	維持管理		

事業目的	伊岐佐ダムは、松浦川水系叡木川の支川である左伊岐佐川に位置し、洪水調節、水道用水、流水の正常な機能の維持を目的に昭和54年6月に竣工した。毎年、ダム管理設備は保守点検を行い、動作確認、不良個所の取替等を実施し、設備の維持管理に努めているが、設備の不具合や故障が毎年増大している。このことから、地域住民の安全・安心を確保するには、確実に迅速なダム操作ができるように老朽化した設備の更新・補修・改良、システムの標準化を図る必要がある。このため、ダム施設整備交付金事業を実施することによって、ダム管理の安全性・信頼性の確保、効率化併せてトータル管理コストの縮減を図るものである。
------	--

定性評価	自然環境保全	既存のダム管理設備老朽化に伴う設備の更新等を行うため、自然環境への影響はほとんど無い。
	生活環境対策	修繕等により施設の延命化が図られる。排ガス対策型機械を使用し大気汚染に配慮する。
	コスト縮減策	ダムコンピューターは汎用性の機器による更新を行いコスト縮減を図る。
	その他	

注) () 内の数字は満点

箇所番号	路河川名及び地区・箇所名	所在地		事業費 総事業費 (百万円)	公共 単独 の別	完成 予定 年度	評価視点：位置付け					評価視点：必要性・効果					評価視点：実施環境					評価	判断	
		市町村名	大字等				評価指標：点検 診断結果による 判定		計	評価指標：構造上の課題			評価指標：破損 錆の目視判断		計	評価指標：想定 被害区域の状況		評価指標：操作 性による判定		計				
							専門業者による診断 点検報告	小計		対象機器の重 要度	小計	設置年 からの 経過	前回修 繕から の経過	小計		破損箇 所の有 無及び 錆の度 合い	小計	土地家 屋等の 保全	小計		操作性			小計
1	伊岐佐ダム	唐津市	相知町伊岐佐	942	公共	H32	40	40	40	40	80	60	20	80	10	10	90	60	60	20	20	80	AAA	